

平成 28 年度 学校評価について

1 はじめに

学校評価内容は、本年度「平成 28 年度 県立鹿児島養護学校経営・運営ビジョン」を基にしながら教職員の内容全ての見直しを行った。教職員の内容については、保健・安全指導，学習指導，生徒指導，進路指導，開かれた特色ある学校づくり，校務分掌の推進，服務規律等から重点的に取り組む必要のある項目内容・数を精選した。また，昨年度同様児童生徒及び保護者の評価においては，それぞれが取り組みやすい内容や項目数で実施した。

評価の方法については，以下のとおりである。

(1) 段階評価

- 4：十分達成できている（そう思う）
- 3：おおむね達成できている（ややそう思う）
- 2：やや不十分である（あまりそう思わない）
- 1：不十分である（そう思わない）

(2) 成果と課題の捉え方

- 成果 4 の割合が 『5 人に 2 人以上』・・・40%以上
- 課題 1 及び 2 の割合が 『5 人に 1 人以上』・・・20%以上

(3) 自由記述欄について

評価項目と関連付けて分析及び解釈する。

(4) 最終評価の集計結果

※ 教職員の回収率：100%

| アンケート種別 | 回収率 | 小学部 | 中学部 | 高等部 |
|---------|-----|-----------|-----------|------------|
| 保護者 | 86% | 82 / 93 人 | 47 / 57 人 | 67 / 77 人 |
| 寄宿舍保護者 | 57% | / | 1 / 4 人 | 11 / 17 人 |
| 児童生徒 | 25% | 4 / 102 人 | 13 / 65 人 | 51 / 102 人 |
| 寄宿舍生徒 | 67% | / | 3 / 4 人 | 11 / 17 人 |

保護者・・・児童生徒の兄弟は末子でカウント。学園は各施設から 1 通提出。学園保護者については提出を求めている。（各学部にも 1 通ずつ提出もあった。）

2 集計結果

(1) 教職員

| 番号 | 項目 | 4 | 3 | 2 | 1 | 成果 | 課題 |
|----|---|----|-----|----|---|-------|-------|
| 1 | 児童生徒の命を守る教育や安全点検，ヒヤリハット報告などの徹底を図り，児童生徒の安全・安心の確保に努めていますか。 | 67 | 78 | 4 | 0 | 45.0% | 2.7% |
| 2 | 体力づくり（健康づくり）や医療的ケア体制の充実，個に応じた食育，給食指導や摂食指導の充実など，健康の保持・増進などに努めていますか。 | 65 | 78 | 6 | 0 | 43.6% | 4.0% |
| 3 | 緊急時（捜索，災害時，不審者，発作時対応等）の体制は整っていますか。 | 44 | 99 | 6 | 0 | 29.5% | 4.0% |
| 4 | 児童生徒のことや授業の打合せ，振り返りなどをみんなで語り合っていますか。 | 43 | 97 | 9 | 0 | 28.9% | 6.0% |
| 5 | 教育活動全般において，個別の教育支援計画や個別の指導計画，あいあいシートなどを活用した授業や指導・支援をしていますか。 | 15 | 116 | 16 | 1 | 10.1% | 11.5% |
| 6 | 一人一人の実態や障害の特性等に対応した教育課程の編成を行い，「生きる力を育む授業づくり」を意識して，授業及び授業改善に努めていますか。 | 37 | 102 | 9 | 1 | 24.8% | 6.7% |
| 7 | 児童生徒の人権を尊重した指導・支援，言葉掛け（生活年齢に応じた呼称，接し方の徹底も含む）を行っていますか。 | 53 | 93 | 3 | 0 | 35.6% | 2.0% |
| 8 | いじめ防止や自己有用感を育むことに向けて，学校として人権意識の向上や具体的な指導に取り組んでいますか。 | 44 | 98 | 7 | 0 | 29.5% | 4.7% |
| 9 | 生徒指導上の諸問題に対して，組織的かつ連携した指導・支援ができていますか。 | 46 | 91 | 12 | 0 | 30.9% | 8.1% |
| 10 | 発達段階に応じたキャリア教育を意識して，個別の指導計画や授業を計画し，実践していますか。 | 31 | 106 | 12 | 0 | 20.8% | 8.1% |
| 11 | 児童生徒の卒業後を見据えて，個に応じた適切な進路指導を意識していますか。 | 51 | 92 | 6 | 0 | 34.2% | 4.0% |
| 12 | 地域・学校の教育資源や教育環境，施設・設備等を有効活用した開かれた特色ある学校づくりを進めていますか。 | 24 | 112 | 13 | 0 | 16.1% | 8.7% |
| 13 | 校務分掌の確実な実施と改善のため，互いを尊重し，責任を分担しながら，協力し合う明るく働きやすい学校となっていますか。 | 23 | 104 | 21 | 0 | 15.5% | 14.2% |
| 14 | 保護者や県民の信頼に応えられるよう服務規律の厳正確保に努めていますか。 | 66 | 82 | 1 | 0 | 44.3% | 0.7% |

※ 無回答の項目もありました。

(2) 保護者（学校）

| 番号 | 項目 | 4 | 3 | 2 | 1 | 成果 | 課題 |
|----|--|-----|----|----|---|-------|-------|
| 1 | お子さんは、学校生活を楽しんでますか。 | 144 | 43 | 9 | 0 | 73.5% | 4.6% |
| 2 | 学校の教育活動全般に対して満足されていますか。 | 96 | 90 | 9 | 0 | 49.2% | 4.6% |
| 3 | P T A活動については無理なく参加できていますか。 | 69 | 90 | 27 | 6 | 35.9% | 17.2% |
| 4 | お子さんのことで困ったことや悩み等があるとき、先生たちに相談しやすいですか。 | 129 | 56 | 9 | 2 | 65.8% | 5.6% |
| 5 | 学校参観や行事等で学校を訪れる機会は適切に設定されていると思いますか。 | 101 | 80 | 11 | 4 | 51.5% | 7.7% |
| 6 | お子さんの実態や成長の様子など、担任から分かりやすく説明を受けていますか。 | 128 | 56 | 10 | 1 | 65.6% | 5.6% |
| 7 | 連絡帳や週報、学校便りなどでお子さんの学校での様子等が伝わっていますか。 | 135 | 49 | 12 | 0 | 68.9% | 6.1% |
| 8 | 学校便り、保健室便り、進路便りなどの情報提供は役立っていますか。 | 113 | 74 | 7 | 1 | 57.9% | 4.1% |

※ 無回答の項目もありました。

保護者（寄宿舍）

| 番号 | 項目 | 4 | 3 | 2 | 1 | 成果 | 課題 |
|----|---|---|---|---|---|-------|-------|
| 1 | お子さんの生活力の向上を図る支援を行っていると思いますか。 | 4 | 7 | 1 | 0 | 33.3% | 8.3% |
| 2 | お子さんが主体的に責任感をもったり、仲間意識を高めたりできる指導を行っていると思いますか。 | 4 | 8 | 0 | 0 | 33.3% | 0.0% |
| 3 | お子さんの健康や安全に対する意識を高める指導を行っていると思いますか。 | 5 | 7 | 0 | 0 | 41.7% | 0.0% |
| 4 | 御家庭や学部等と連携して、個に応じた指導に取り組むことができていると思いますか。 | 4 | 6 | 2 | 0 | 33.3% | 16.7% |
| 5 | お子さんの理解に努め、人権に配慮した生徒への支援・言葉掛けを行っていると思いますか。 | 5 | 6 | 1 | 0 | 41.7% | 8.3% |
| 6 | お子さんが安心して過ごせる衛生的な環境の整備に努めていると思いますか。 | 6 | 6 | 0 | 0 | 50.0% | 0.0% |

3 成果及び課題等

(1) 教職員

成果としては、最終評価結果が全体的に中間評価より数値が上がり、前年度との比較でもほとんど下がった項目はなかった。成果項目では、「1 安全・安心の確保」「2 健康の保持増進」「14 服務規律の厳正確保」が、あげられる。取組の具体例としては、ヒヤリハット事例をグループウェアで即時報告で全職員共有や、体力づくりや医療的ケア体制の充実、給食指導・摂食指導の充実、服務規律についての研修等での更なる意識向上に取り組んだ。

課題としては、中間評価を受け「職員の多忙感の解消、児童生徒の人権に配慮」の2点について、全職員で検討・改善する共通実践として捉えることにした。その他の項目等についても学校評価委員会で基本的な方向性を出した後、関係する部や係内で再度改善策や回答について検討を行った。

(2) 保護者

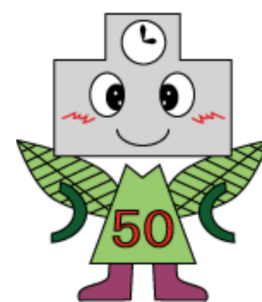
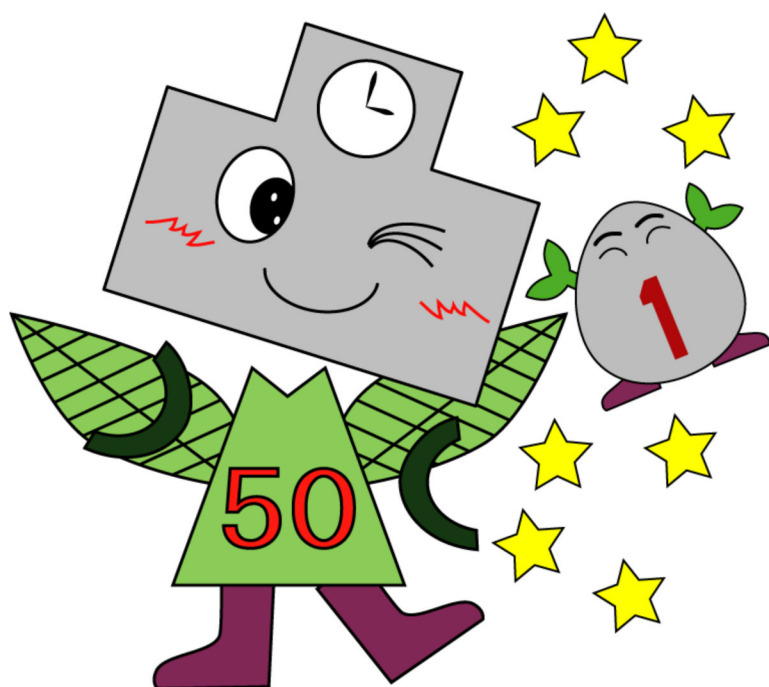
全ての項目で高い評価であった。また、自由記述では、昨年度評価を受けて改善した自由参観日や学習発表会等については一定の評価を得ることができた。しかし、担任・学部・学校への積極的な評価がある一方、学校行事の期日や学習活動、週報で写真が掲載できないこと等についての意見も一部見受けられた。

中間・最終評価で受けた数値結果や自由記述を受け、学校評価委員会や各関係部、学部、係で改善策・回答を検討し、中間と最終評価後に保護者に改善案・回答とともに紙面で報告をした。

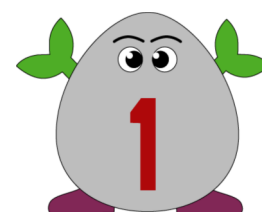
4 最後に

成果については更に努力し、課題については今後も十分に検討をしていく。

学校評価は、本校児童生徒がよりより教育活動ができるよう学校運営の改善と発展のために、これからも継続して取り組んでいきたい。



50周年記念マスコット
「リーフィフティ」



51周年記念マスコット
「いっくん」